

陸上競技（短距離）プログラム報告 2015年2月14日（土）中村 泰雄

十三日の金曜日を何事も無く過ごし、明けて今日は二月十四日土曜日。川口陸上プログラムは正月以来三度目の開催です。

所でプログラム会場の県民健康福祉村では一月五日から三月二十日までの予定でジョギングコース他の改修工事が行われており、現在鋭意進行中です。こう言うと『プログラムの実行に支障は無いのか』と心配する向きも有るかも知れませんが、工事の影響はジョギングコースの幅員が一部狭くなる程度で、問題にする程ではありませんでした。

さてお馴染みの配布プリントですが、今回は南天で作りました。花期は初夏で結実期は晩秋と云うことで、現在は花も実も見られません。それでプリントのタイトルは『南天の葉』とし、B5用紙の上辺中央に掲げ、その下に赤飯の上に置かれた南天の葉の画像を貼りました。

その下から始まる記事ではナンテンが『難転』に通じる所から縁起の良い木とされてきたこと、火災避けや魔避けとして植えられたこと等々を書きました。

梅をターゲットにした前回のプログラムの時と同様に、私は今回もウォーキングのスタートを見送ってから現場に向かいました。南天は梅のすぐ隣に生えているからです。

前回と違うのは、ジョギングコースの改修工事が梅と南天の所まで進んで来て、その為の防護柵で、ジョギングコースの側からは近付けないという点です。是非反対側（フットサル場の側）から近付く必要が有ります。その為に私はジョギングコースからフットサル場の傍に降りる降り口で一行を待ちました。

待つこと五分強、アスリートたちが続々到着しました。南天は其処からジョギングコースを右に見て、十メートルほど歩いた所に生えているのですが、最初に梅の前を通ります。此処で質問。

『これは前回見てもらった梅だけど、憶えているかな』

皆の顔に微笑みが浮かびました。明らかに『イエス』の反応です。

そこですかさず『その隣のこれが南天だよ』と続けます。アスリートたちの間から『南天・・・南天』と云う声が繰り返し聞こえてきました。仲間同士で南天を話題にしているのです。

何故かは知りませんが、彼らは南天に興味があるようでした。そう言えば彼ら（彼女ら）はミーティングの時にもプリントをしきりに読んでいました。

プリントを作った身としては大いに満足ですが、ウォーミングアップ中に寒さの中での長居は無用です。急ぎ再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後はアスリートの選択によってジョギングコースを一周か二周か三周するペース走。その後に 1000mを走ってタイムを取り、整備体操の後に、寒さ（午前十時に北西の風 5.8m 気温 6.1℃）の中でのプログラムを終了しました。十一時三十分でした。